
不可死の魔王

ネコノ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

不可死の魔王

【Nコード】

N4451Z

【作者名】

ネコノ

【あらすじ】

ごく普通の高校でごく普通の生活を送る村上^{かすや}一弥は平凡な生活に嫌気がさしていた。そんなある日、斉藤と名乗る謎の人物と出会う。斉藤に手渡された謎のディスク。それは異世界への通行証だった。ゲームのような異世界をクリアすると何でも望みが叶うと言う。そのディスクを使い一弥はゲームのような異世界へ向けて旅立つ。その世界で与えられた適正職業はなんと『魔王』だった。そして、そのゲームのクリア条件は魔王を倒す、つまり自分が死ぬことが条件だった。

プロローグ

自分の根城から少し離れた広大な草原の中。

剣の大きな一振りが周りの異形の魔獣を蹴散らした。

その衝撃波は多くの魔獣を紙きれのように貫いていく。

衝撃波の目標は俺だ。

とっさに剣を構えて衝撃波を受け止めた。しかし、反動は殺しきれず大きく後ろへと吹き飛ばされ、地面に背中を強打する。

起き上がらなければ負ける……

吐き気がこみ上げるのを堪えて立ち上がり、再び剣を構えた。

目の前のモンスターは次々となぎ倒され、やがてその人影は目前に迫る。

くる！

一太刀、二太刀と刃が迫るのを剣で受け流し、大きく後ろに下がった。

「あなたが魔王ね？」

襲いかかってきた敵はそう尋ねた。女の声。

目を上げると、150？ほどの小柄な少女が睨みつけていた。

彼女は赤い髪を風になびかせながら、アーマープレートは太陽の光を眩しく反射させて輝いていた。

この問いに答えるのは何度目だろうか……

「ああ、そうだ」

無愛想にそう答え、剣を構えた。

「あなたを倒せばこの世界は平和になる」

平和になろうと何だろうと、負けるわけにはいかない……。

負けたくない……

僕は……、僕は死にたくない……

彼女は剣を構え、飛び込んでくる。

はいい！！ 彼女の太刀を受け流しながら、後ろへと後退した。はやくて見えない。このままじゃ……

かろうじて受けきっていた。しかし、対応しきれなくなり、やがて剣をはじかれた。

剣は手を離れ勢いよく回転しながら少し離れたところに突き刺さる。

そのまま体勢を崩し大きく地面に倒れた。

彼女はすかさず体にまたがり、刃を首へと押しあてられる。

「私の勝ちよ。観念しなさい！」

この状態からは逃げることは出来やしないだろう。

彼女の言うとおりこれで終わる。

結局、僕は死ぬのか……。

「これで終わりよ！」

目を瞑り、すべてをあきらめた。視界は消え、暗闇の中ただ祈った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4451z/>

不可死の魔王

2011年12月15日03時47分発行